

入試と連動するコース制導入の構想

1. 背景

- 入試受験者数が減少傾向にあり、特に今年度の各入試の志願者数は前年度比で40%台から80%台となった。
- 都市工学科の学科としての教育研究目標は、建築学科との重なりが多く見える
- また本来の「土木」であるとの情報を発信するべきとの意見がある。
- 大学名称が東京都市大学となり、また都市生活学部が設置され、都市工学科が埋没してはいないか。
- 建築的な色彩は入試上有利に作用するが、高校側はむしろ学科の分かりやすさを要望している。
- 学科名称を5年ごとに変更しており、再度変更すると、「せっぱ詰まってまた変更か」と認識されるのではないか。

2. 目的

- 学生定員が5名増えることもあり、学科の教育研究の内容・方向性・打ち出し方に将来構想に沿った改善を加える。
- 従来の特長分野に応じたコース制に代えて、目的別のコース制とする将来構想の考え方を具現化する。
- コース名称と内容は、本来の「土木」であることがより明確にわかるものとし、建築色を消すよりは、コースの一部として含まれるものとする。

*なお、JABEEについては学科全体としての認定を継続できることを条件とする。

3. 構想

- 目的別のコース制を入試と連動して導入する。
 - 都市工学科（国土形成コース）（仮称）
 - 都市工学科（地域デザインコース）（仮称）
- 入試については、学科の定員は固定であるが、一部の入試にコースごとの合格者判定を導入する。この際、受験者の動向を反映して入試判定を行うことになる。

4. スケジュール

- 4月には入試の構想を学科として決定し、入試大綱に反映させる。
- 前期中に、各コースの履修条件を学科として決定する。
- 後期に、教務委員会を通じてカリキュラム改訂を審議・決定する。

*ただし、この構想は、文科省への届出等が不要であることを前提としており、届け出が必要であれば実施は1年遅れることになる。

（参考）

芝浦工大・土木工学科：社会基盤コース&社会システムデザインコース

北大・環境社会工学科：シビルエンジニアリングコース&国土政策学コース

以 上